



インスピレーションになる

《第2530地区活動目標》

1. 会員層の維持と強化
2. POLの推進への取り組みと支援
3. TAKE ACTION - みんなで行動を起こしましょう
4. RI戦略計画と中核的価値観の理解と実践
5. 公共イメージの向上
6. 全クラブでロータリー賞に挑戦しよう
7. 研修制度の充実
8. ロータリー財団への理解と活用
9. 米山記念奨学会への協力

WEEKLY REPORT OF IIZAKA ROTARY CLUB, DIST. 2530 広報委員会作成

# 飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日  
 ガバナー 平井義郎  
 ガバナー補佐 渡邊武  
 会長 吾妻一夫  
 幹事 村上裕司

1月は職業奉仕月間

2018~2019年度  
 RI会長 バリー・ラシン  
 イーストナッソーロータリークラブ(バハマ)

◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋  
 事務局/〒960-0282 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)542-3604

通算

## 第26回 [2947] 例会報告

平成31年(2019)1月17日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	26名
欠席会員	13名
出席率	66.67%

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為に なるかどうか

◆開会点鐘 吾妻一夫 会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 紺野容樹 会員

◆四つのテストの唱和 篠木勝司 職業奉仕委員



四つのテスト

【1月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます。♪♪♪

1月27日 村上壽美様(裕司会員) 1月28日 畠ひで子様(隆章会員)

♪ 今週の誕生日 ♪♪♪♪ 1月27日 小笠原尚史 会員 ♪♪♪♪

.....lunch time.....

### ◆会長あいさつ



先だつての佐々木さんの告別式にお手伝いいただいた皆様、ご参列いただいた皆様、ありがとうございました。お疲れ様でした。今年も2回目の例会となりましたが、今年は行事が盛りだくさんあります。まず、松島への日帰り旅行と新会員セミナー、また、5月には焼肉パーティーがあります。ぜひ楽しみに参加していただきたいと思ひます。松島の旅行の後にバリ島旅行がありますので、皆様、体調の自己管理を宜しくお願ひいたします。前回の会長の時間の時にお話しをさせていただきましたが、“社会奉仕とは何だろう”と私なりに考えた時に、地域の中で自分の職業を継続して行ふ事と、その中で出来れば若い人たちが巣立っていけるような道しるべとなるような事をしていければいいのかなと思ひます。では私はどうするのか。例えば、車に乗った時などの「挨拶」と「礼儀」、今言われているあおり運転は非常に問題外だと思ひます。お互いに心遣いが出来るようになり、それで社会奉仕というものが伝わってきて、あの人はロータリアンではないか、そんな事になってくればしめたものではないかなと思ひます。日々、お互い気を遣ってれば飯坂ロータリーの人は一味違うなというような、大きな目標はそこにして、そうなるにはどうしたらいいのか、みんなで話し合いながら、さりげなくみんなの気持ちになるというのが社会奉仕の第一歩ではないかなと思ひます。痛切に思つたのは真也さんが新会員の勧誘をする時の話の中で、そういう事だったのかと恥ずかしながらわかりました。最後に理事会の報告ですが、例年通り家族同伴忘年会のチャリティーオークションの一部を飯坂小学校に寄付させていただくことになりました。

### 地区大会表彰



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(3回目)



ポール・ハリス・フェロー

### ◆幹事報告 村上裕司 幹事

#### A. 来信

① 東北第二分区分区ガバナー補佐 渡邊 武 氏より  
 「第3回東北第二分区分区会長・幹事会の案内」  
 と き、平成31年2月23日(土) 18:30~  
 ところ、ラ・ボッカ

② ガバナー 平井義郎 氏より  
 「2019年度米山記念奨学生の世話クラブ  
 お引き受けについて」

### ◆スマイリングBOX 中島定宏 副委員長 【合計3-59】

篠木 勝司会員	J	欠席おわび 新年明けましておめでとう。
吾妻 一夫会員	H	牧浦さんスピーチたのしみにしています。
小笠原尚史会員	H	前回欠席おわび 本年もよろしくお願いいたします。新会員入会を祝して
石川 邦俊会員	H	牧浦会員スピーチ楽しみにしています。気楽にスピーチして下さい。
油井 明則会員	H	入会したばかりの新人です。がんばります。よろしくお願ひします。
西條 博之会員	H	新会員です。今後よろしくお願ひします。
高田 薫 会員	H	本日よりお世話になります。



スマイリングボックス委員会の報告

《佐藤真也会員》  
 純米吟醸摺上川のパンフレットをお配りさせていただきました。本日新酒生酒が販売されました。指定販売店でお求めいただけます。「ALL 福島市」のお酒です。PRのご協力宜しくお願いいたします。

堀切 孝敏	会員	S	米山功労賞をいただいて
安斎 忠作	会員	S	牧浦さんのスピーチ楽しみにしています。
佐藤 真也	会員	S	純米吟醸摺上川の生酒が本日発売となりました。皆様ご協力よろしくお願ひいたします。
			牧浦会員のスピーチ楽しみにしています。
生田目 正志	会員	S	牧浦支局長のスピーチをたのしみにして参りました。
紺野 容樹	会員	S	今年もよろしくお願ひします。牧浦会員、スピーチ楽しみにしていました。
中島 定宏	会員	S	前回欠席おわび 新年おめでとうございます。
佐藤 喜市郎	会員	I	早退おわび

## ◆ 会員スピーチ

### 牧浦史幸 会員



福島民友新聞社の牧浦です。とても緊張しております。弊社の飯坂支局に着任しまして丸2年が経とうとしております。同時に飯坂ロータリークラブに入会させていただいて2年になります。私がロータリークラブに入会させていただいて、本当に皆様に支えていただき、面倒をみていただき、ここまでやってこれたと思っております。一番感銘を受けたのが「4つのテスト」です。シンプルな言葉なのですが、例えば自分がどういう事を言うべきか、どういう振舞いをすべきかと迷った時に、「4つのテスト」に照らし合わせると大体の事はこれでうまくいくのではないかと思います。これからもずっと心掛けていきたいと思っております。

今日どのような事を話そうか迷ったのですが、うちの会社の取り組みをお話しさせていただければと思ひまして資料をお持ちしました。会社案内に沿ってお話しさせていただきます。弊社は明治28年に創刊しまして、2020年の東京オリンピックパラリンピックの年に創刊125周年を迎えます。明治28年に自由民権運動の指導者といわれた河野広中達の手によって創刊されました。“西の板垣 東の河野”と言われたそうですが、その河野達の手によって創刊されました。順調にきているかというところではなくて、一度戦時中に休刊しております。国の言論統制、報道統制がありまして、1つの都道府県につき、新聞は一紙にしなさいという国の政策がありました。当時、うちの新聞は国の軍国化に対してかなり反対する論陣を張っていたようで、一度休刊しております。戦後、県民の皆様から望む声をいただきまして復刊し現在に至ります。明治28年から通算41130号です。それは「紙齢」と言います。号外は紙齢第何号に含まれないという事で「号外」なのです。戦時中以外でもこの紙齢が途絶えそうになった事がありました。それが2011年の東日本大震災です。震災で弊社の建物が停電してしまい、実は新聞の制作のシステムは全てコンピューターで行われていて、電気が使えなくなって新聞発行が出来ない状況になりました。当時、自家発電があって、数日前に自家発電の点検が行われていて順調に動く事が確認されていたのですが、いざ使う時になったら30分で止まってしまいました。新聞が発行出来ないかもしれないという状況になり、結果的には新聞を発行出来たのですが、非常にラッキーだったのが当社のナンバー2の常務と新聞製作のシステムの担当責任者が当時東京に出張しておりまして、親会社の読売新聞の中から色々指示を出して何とか読売新聞のシステムを使わせていただいて発行出来ました。これがその時の新聞です。広告も省かれた8ページの新聞です。混乱の中、記者の書いた記事はなかなか載せられなくて、共同記事を入れながら何とか8ページの新聞を作り上げました。私たちにとって紙齢を繋ぐという事はとても大切な事で、繋いでこれたからこそ今があるのかなと思ひます。



知っておきたい新聞の基本とありますがこれについて説明しますと、新聞のニュースというのはS字に流れるように紙面が作られております。大切なニュースは紙面の右上に、一番価値が低いニュースが左下にきます。それが基本的の流れです。逆三角形の原則というのがあります。これは書き方ですが、大切な内容を最初を書くという大原則があります。5W1Hも大切ですが、最初の段落を読めば大体分かるように書きなさいという指導を我々は受けております。読み方は皆さんそれぞれあると思いますが、新聞の文字数はどれだけあると思ひますか。新聞40ページで約30万文字あります。新書2冊分あるそうです。全部読む必要はないと思ひます。私がどういう読み方をしているかというところ、大きく分けて3つあります。それは「見出しだけ見るもの」「一段落目だけ読むもの」「全部読むもの」です。これでさらっと読む事が出来ます。出来れば全部のページをめくって欲しいと思ひます。新聞の魅力は偶然の出会いだと思います。英語でいうと「Serendipity」です。新聞をめくっていくと自分に興味のないニュースも目に飛び込んできます。こんなものがあるのだと気付いたり、色々なきっかけがあったり、偶然の出会いが新聞にはあるのかなと思ひます。ニュースの価値判断ですが、価値判断をしながら記事を扱う大きさを決めたり、優先順位を決めたり、常に考えながら新聞を作っております。新聞記者が気を付けている事ですが、「正確でわかりやすく真実の記事を書く」「情報源の秘密を守る」「人権を尊重する」「特定の団体や個人の利益にならないように注意する」「取材で得た情報は報道以外には使わない」。記者ハンドブックというのがありまして、これに基本が載っております。

弊社の取り組みと活動ですが、今年プレ125周年ということで色々なイベントをやっていききたいと思っております。まず、今年が目玉事業はこの「若冲展」です。今回は100点ほどの若冲の作品が展示されます。ぜひ皆様に足を運んでいただきたいと思ひます。宜しくお願ひいたします。

先日、ものわの湯に入りました。まだまだ飯坂って良い所がたくさんあります。飯坂の地域づくりを考えた時にどうしても観光が外せないと思ひますが、今はどこの温泉地も回復傾向にあるのですが飯坂はまだまだ厳しい状況で、皆さん飯坂は何も無いからねというお話をされますが、私からするとまだまだいっぱい良い所があるというのがよそから来た私の印象です。私もこれからの仕事を通じて、飯坂の方々に飯坂にも宝物がいっぱいあるのだということを飯坂の方々自身に伝えられるような仕事をこれからもしていきたいと思ひます。

ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長エレクト